

大曲仙北広域市町村圏組合

公共施設等総合管理計画

大曲仙北広域市町村圏組合

平成30年3月

目次

1	公共施設等総合管理計画の策定	3
1.1	組合の概要	3
1.2	計画策定の目的・趣旨	3
1.3	計画の位置付け	3
1.4	対象となる公共施設等	4
2	公共施設等の現況及び将来の見通し	5
2.1	現況	5
	● 築年度別延床面積	5
	● 老朽化状況	6
2.2	利用状況	7
	● 保健衛生施設	7
	● 消防施設	8
2.3	人口の見通し	9
2.4	組合の財政状況	9
	● 歳入	9
	● 歳出	10
2.5	施設整備にかかる中長期的な経費及び財源の見込み	11
3	公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針	13
3.1	計画期間	13
3.2	取組体制の構築及び情報管理・共有方策	13
3.3	現状や課題に対する基本認識	13

● 少子高齢化、人口減少	13
● 施設の老朽化	13
● 一部事務組合としての施設管理	13
3.4 公共施設等の管理に関する基本的な考え方	14
● 点検・診断等の実施方針	14
● 維持管理・修繕・更新等の実施方針	14
● 長寿命化の実施方針	14
● 統合や廃止の推進方針	14
● 総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の構築方針	14
3.5 フォローアップの実施方針	15
4 施設類型毎の管理に関する基本的な方針	16
4.1 衛生施設	16
4.2 消防施設	16
4.3 その他	16
5 付録	17
● 施設整備に係る経費試算の前提条件	17

1 公共施設等総合管理計画の策定

1.1 組合の概要

- ・広域行政機構の名称：大曲仙北広域市町村圏組合
- ・圏域の設定年月日：昭和46年8月1日
- ・構成市町名：大仙市、仙北市、美郷町（2市1町）

1.2 計画策定の目的・趣旨

我が国においては、公共施設等の老朽化対策が大きな課題です。国は地方公共団体に対して、公共施設等の総合的かつ計画的な管理促進のため、「公共施設等総合管理計画」の策定に取り組むことを要請しています。

当組合は、大仙市、仙北市、美郷町の2市1町を構成市町とし、火葬場、消防業務、介護保険事業等の運営をしている一部事務組合です。運営事業の大部分が、行政経費の中でも義務的経費に分類されますが、構成市町の財政のひっ迫、今後も見込まれる人口減、少子高齢化の進展などにより、当組合の公共施設等を取り巻く環境は一層厳しくなりつつあります。

このような現状を踏まえ、公共施設等の全体を把握し、長期的視点に立って更新・統廃合・長寿命化等を計画的に行い、構成市町の財政負担を軽減・平準化し、効率的・効果的な行政サービスの提供に資することを目的として本計画を策定しました。

1.3 計画の位置付け

消防本部においては、平成27年4月に策定した職員配置再編計画に基づく消防署、分署の増築計画（以下「消防署等増築計画」という。）が既にスタートしています。

また、施設整備等の大規模事業については、組合構成市町の担当課長会議等において10年間の主要事業について説明しています。

今後、当計画の方針を踏まえ、必要に応じて「消防署等増築計画」及び「主要事業一覧」との調整を図るものとします。

1.4 対象となる公共施設等

当組合は、消防業務のための本部、消防署及び分署、保健衛生のための火葬場、へい獣保冷センター等を保有しています。平成29年3月31日現在、当組合が保有する公共施設は15施設あり、総延べ床面積は約8,412㎡となっています。これらの施設について、「保健衛生施設」、「消防施設」、「その他」に分類しました。本計画では、そのすべてを対象とします。

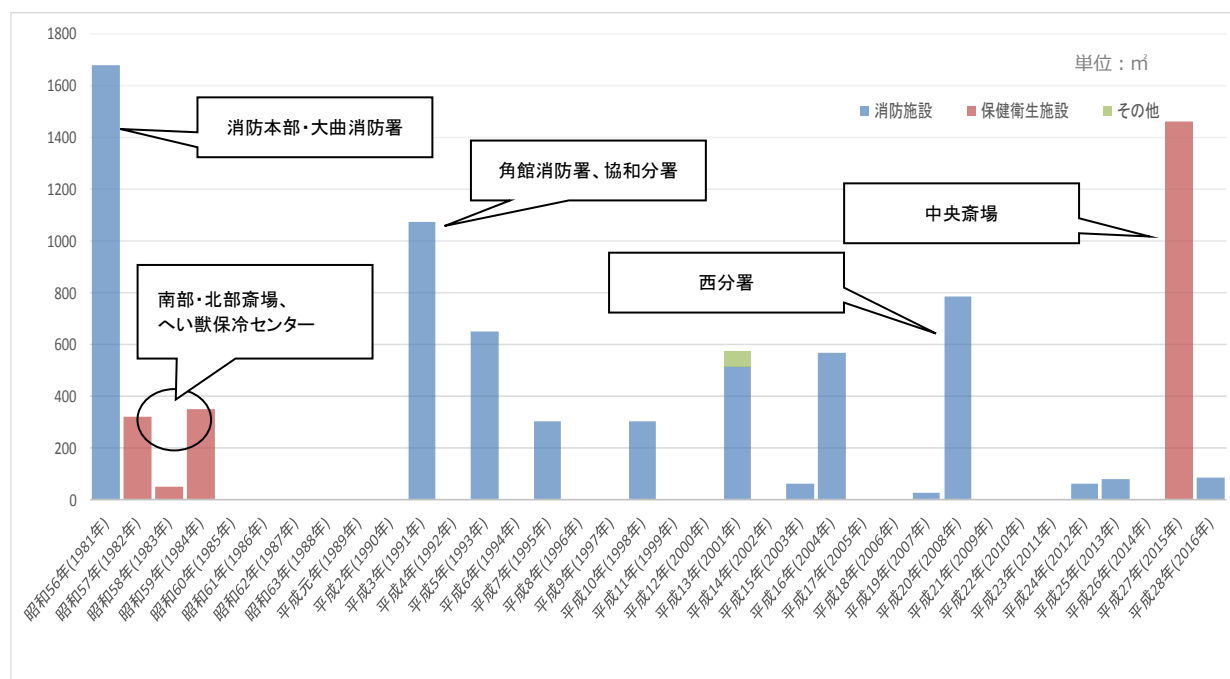
区分		建築年度	延床面積(㎡)
保健衛生施設	へい獣保冷センター	S58(1983)	49.67
	中央斎場	H27(2015)	1463.44
	南部斎場	S57(1982)	320.03
	北部斎場	S59(1984)	347.11
消防施設	消防本部・大曲消防署		
	庁舎	S56(1981)	1471.5
	車庫	S56(1981)	158.24
	訓練棟	S56(1981)	48.00
	車庫	H15(2003)	61.96
	東分署		
	庁舎・訓練棟	H13(2001)	516.22
	南分署		
	庁舎・ホース乾燥塔	H16(2004)	569.75
	西分署		
	庁舎	H20(2008)	659.36
	訓練棟	H20(2008)	125.76
	西仙北分署		
	庁舎	H10(1998)	299.71
	協和分署		
	庁舎	H3(1991)	325.77
	角館消防署		
	庁舎	H3(1991)	819.5
	訓練棟	H3(1991)	32.00
	田沢湖分署		
	庁舎	H5(1993)	410.81
	中仙分署		
	庁舎	H5(1993)	348.79
	西木分署		
	庁舎	H7(1995)	329.26
その他	事務局		
	車庫	H13(2001)	55.00
総計			8411.88

※延床面積には建築年度以後の増改築等を含みます。

2 公共施設等の現況及び将来の見通し

2.1 現況

● 築年度別延床面積



昭和56（1981）年度に消防本部・大曲消防署を改築し、以後数年にわたり、保健衛生施設（斎場、へい獣保冷センター）を建設しました。

平成3（1992）年度の角館消防署新築、協和分署の移転新築を皮切りに、消防分署を統合する移転新築を進め、平成20（2008）年度の西分署新築をもって一区切りとなりました。

平成27（2015）年度には、中央斎場を移転新築しました。現在、消防本部・大曲消防署及び関連施設の改築を、平成31年度の完成を目指し進めています。

● 老朽化状況

平成29年3月31日時点における固定資産台帳情報を基に、以下の算式により各施設の有形固定資産減価償却率を算出しました。

$$\text{有形固定資産減価償却率} = \text{減価償却累計額} \div (\text{簿価} + \text{減価償却累計額})$$

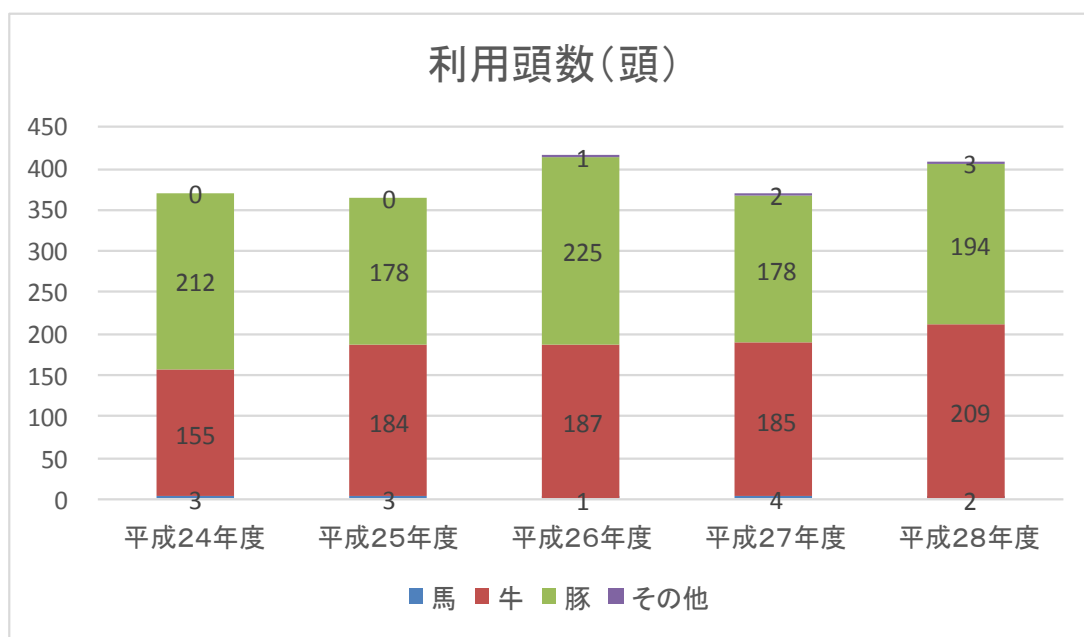
区分	減価償却累計額(円)	簿価+減価償却累計額(円)	有形固定資産減価償却率
保健衛生施設	112,083,825	1,171,974,925	9.56%
へい獣保冷センター	3,476,759	3,476,760	100.00%
中央斎場	38,420,915	1,047,846,000	3.67%
南部斎場	35,037,023	61,234,115	57.22%
北部斎場	35,149,128	59,418,050	59.16%
消防施設	454,446,083	1,007,846,270	45.09%
東分署	42,682,342	139,198,250	30.66%
南分署	29,385,779	118,360,620	24.83%
西分署	32,143,909	192,848,366	16.67%
西仙北分署	47,094,090	62,996,714	74.76%
協和分署	39,833,826	50,562,944	78.78%
角館消防署	100,392,826	230,305,368	43.59%
田沢湖分署	67,867,507	78,385,060	86.58%
中仙分署	49,094,324	69,987,780	70.15%
西木分署	45,951,480	65,201,168	70.48%
その他	964,165	2,367,264	40.73%
車庫	964,165	2,367,264	40.73%
合 計	567,494,073	2,182,188,459	26.01%

※試算にあたり、改築中の消防本部・大曲消防署は除外しています。

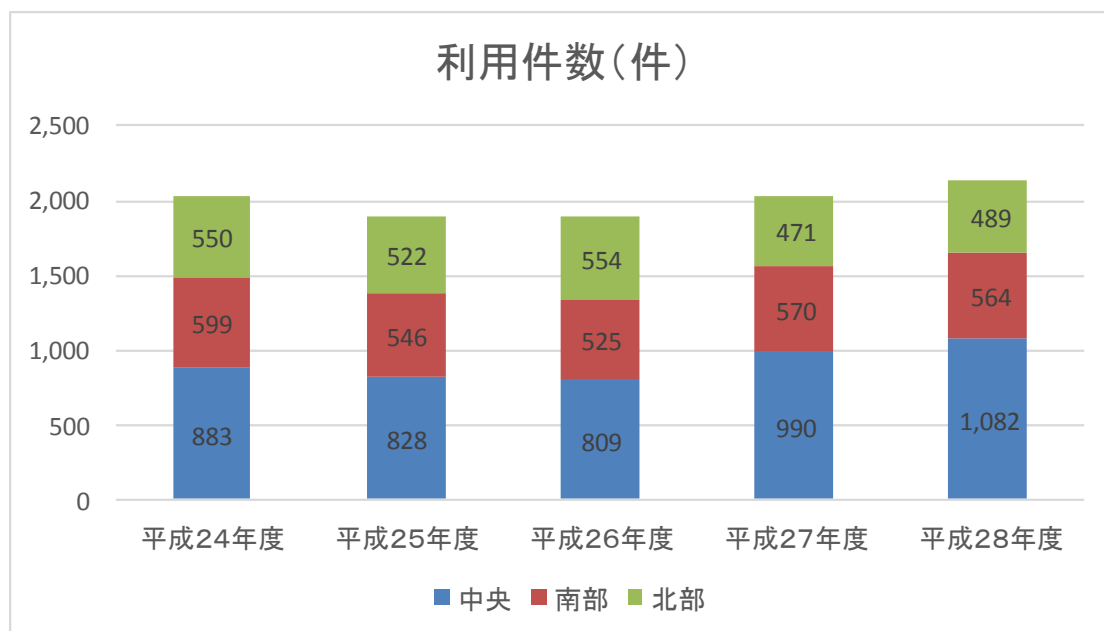
2.2 利用状況

● 保健衛生施設

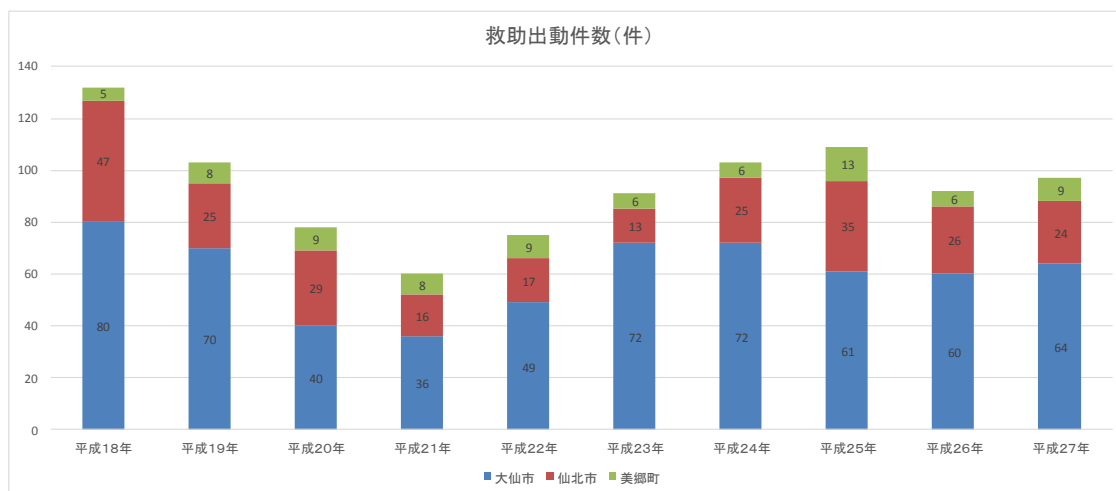
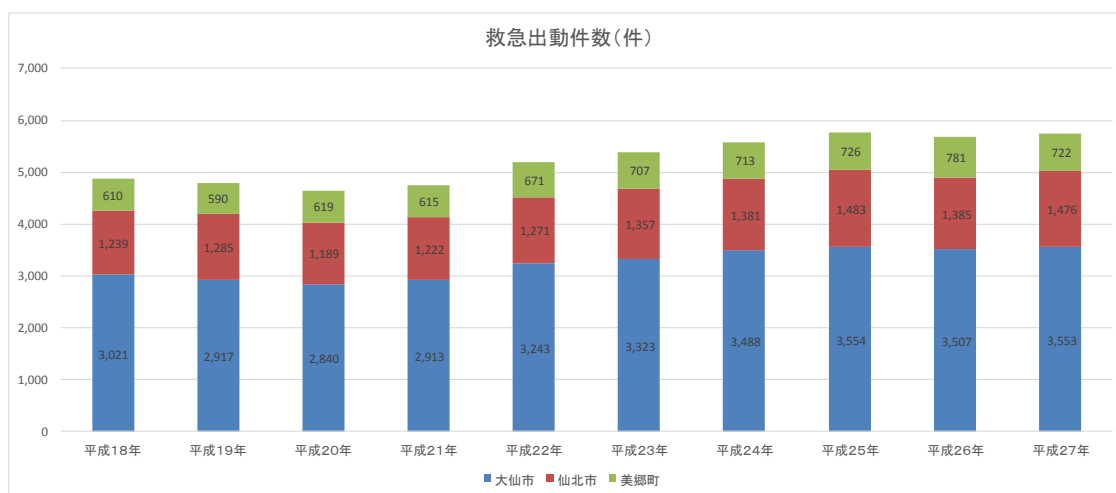
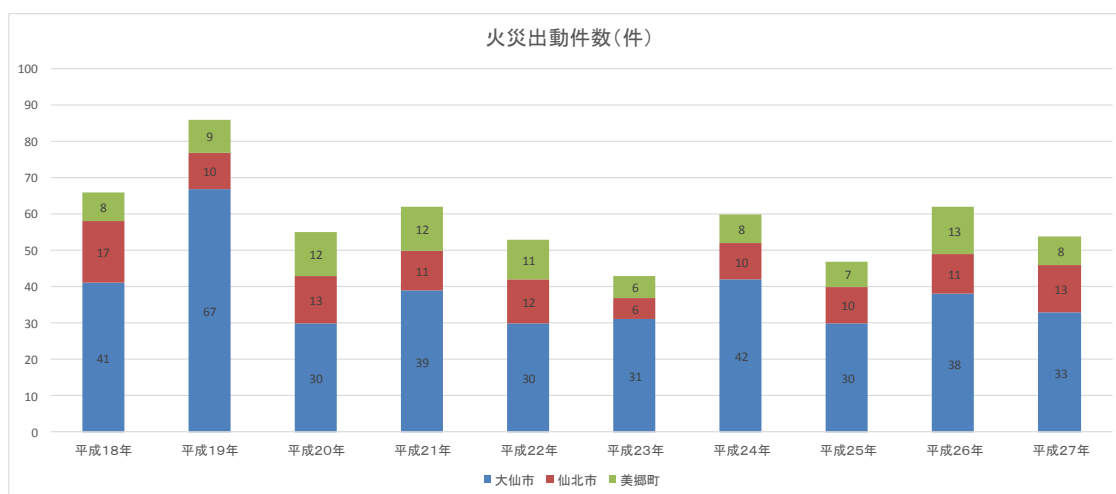
へい獣保冷センター



中央、南部、北部斎場

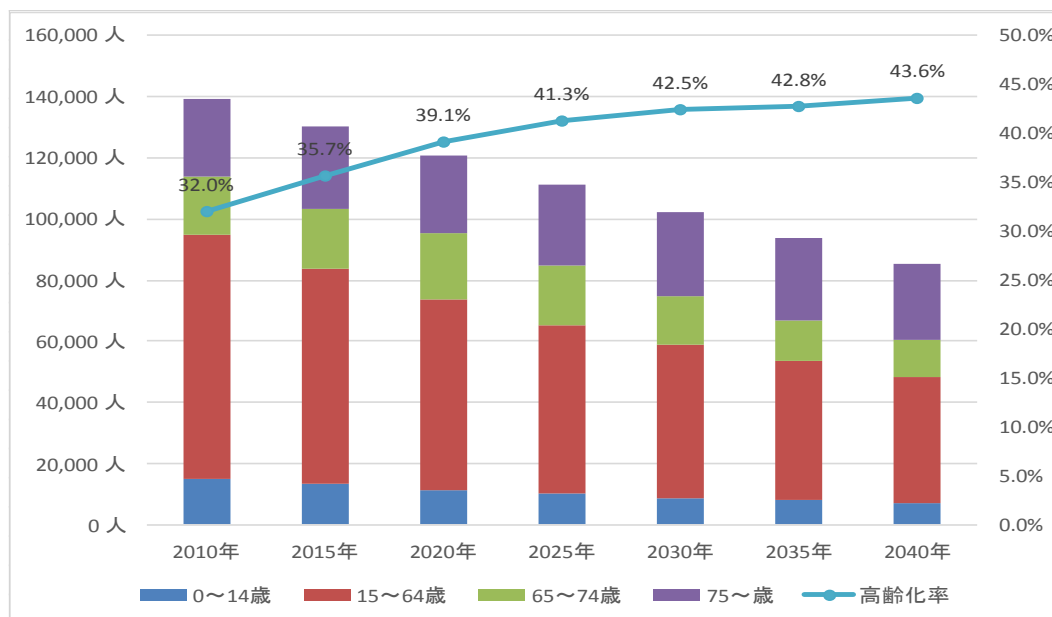


● 消防施設



2.3 人口の見通し

国立社会保障・人口問題研究所が発表した『日本の地域別将来推計人口』（平成25年3月推計）によると、圏域の人口は減少傾向にあり、2040年には、2015年の66%、約8万5千人まで減少する見込みです。年齢層別の比較では、年少人口（14歳以下）及び生産年齢人口の大幅な減少により、少子高齢化が進み、2040年における高齢化率は43.6%に達する見込みです。

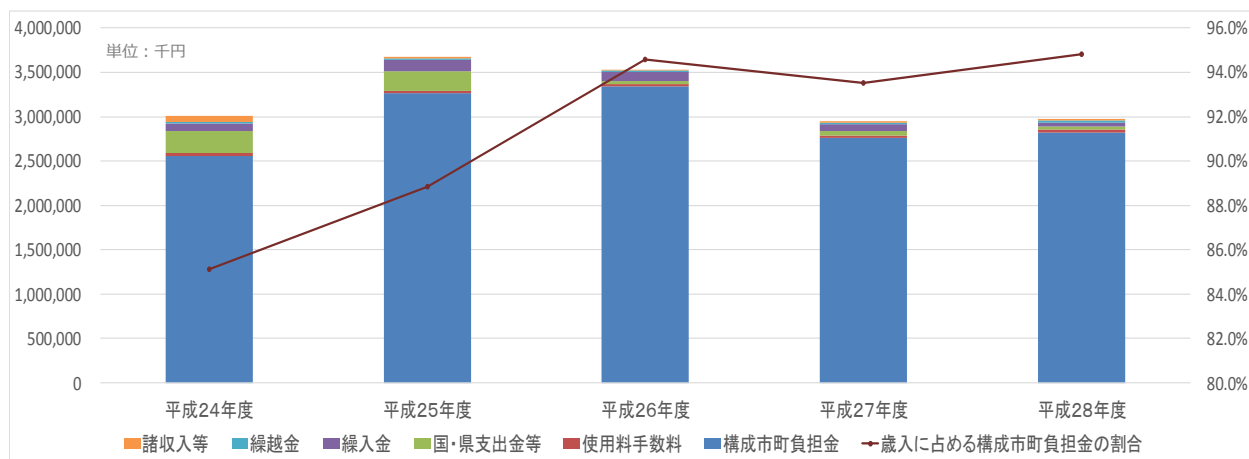


2.4 組合の財政状況

当組合の財政状況について、過去5年間の地方財政状況調査（普通会計分）数値を基にまとめました。

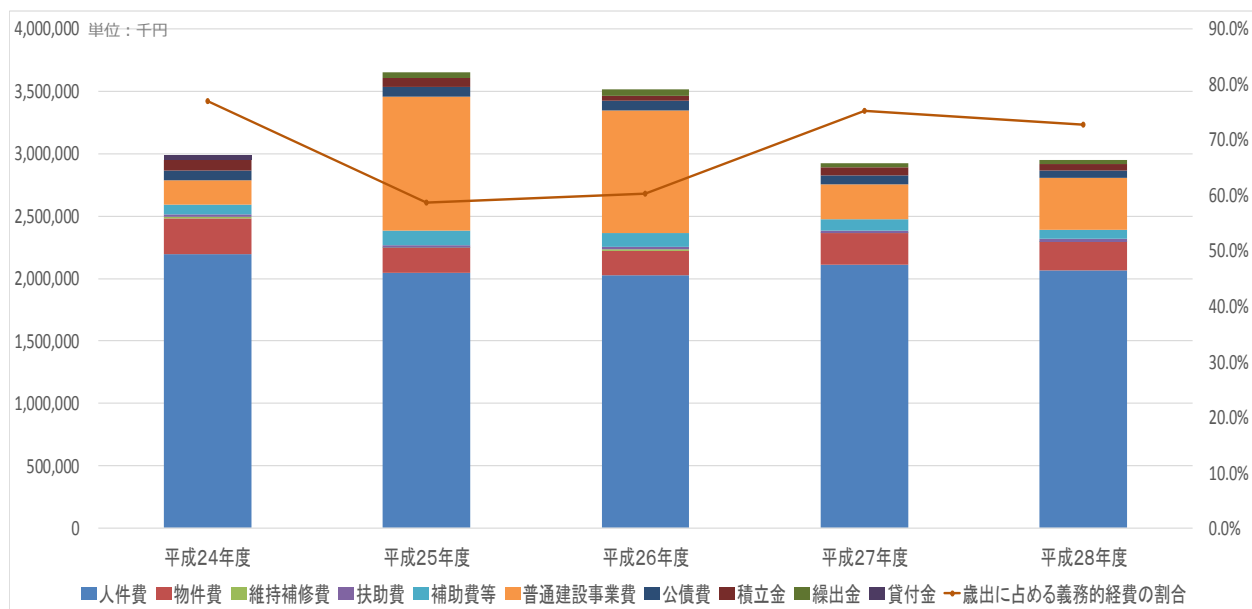
● 歳入

一部事務組合であることから、歳入の殆どを組合構成市町からの負担金に依存しています。



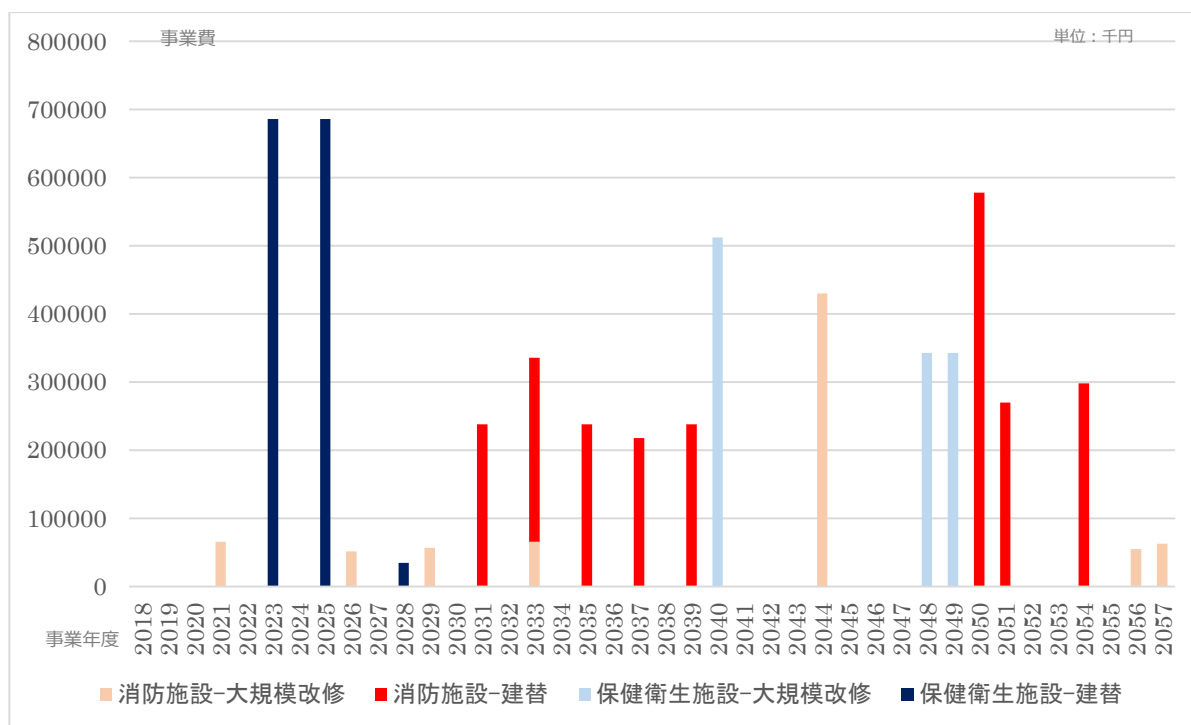
● 歳出

義務的経費（人件費、扶助費及び公債費）が大部分を占めています。経常経費は横ばいですが、普通建設事業費（≒施設の維持管理費用）の増減により歳出総額が大きく変動します。普通交付税の合併算定替特例の終了等により構成市町財政が厳しさを増すなかで、効率的な施設整備・管理が強く求められています。



2.5 施設整備にかかる中長期的な経費及び財源の見込み

今後40年間の施設整備に係る経費について試算しました。前提条件は付録のとおりです。



※ グラフのもととなったデータは次ページに掲載しています。

既存施設の維持を前提に機械的にシミュレーションしたものであるため、債務が確定しているわけではありませんが、施設の統合等による事業費の削減や、計画的な事業年度の設定により単年度負担額の平準化を図る必要があります。

なお、当組合は、財源の殆どを構成市町からの負担金に依存していますので、組合構成市町においては、当組合への負担金の財源として、充当率及び交付税算入率の高い起債を活用することが望めます。

施設整備に係る経費試算 基礎データ

(単位：千円)

事業年度	施設名称	消防施設		保健衛生施設		事業費 計
		改修	建替	改修	建替	
2021	角館消防署	65,560				65,560
2023	南部斎場				686,000	686,000
2025	北部斎場				686,000	686,000
2026	東分署	51,622				51,622
2028	へい獣保冷センター				34,769	34,769
2029	南分署	56,975				56,975
2031	協和分署		220,000			220,000
	協和分署訓練棟		18,000			18,000
2033	西分署	65,936				65,936
	田沢湖分署		252,000			252,000
	田沢湖分署訓練棟		18,000			18,000
2035	中仙分署		220,000			220,000
	中仙分署訓練棟		18,000			18,000
2037	西木分署		200,000			200,000
	西木分署訓練棟		18,000			18,000
2039	西仙北分署		220,000			220,000
	西仙北分署訓練棟		18,000			18,000
2040	中央斎場			512,204		512,204
2044	消防本部・大曲消防署	430,082				430,082
2048	南部斎場			343,000		343,000
2049	北部斎場			343,000		343,000
2050	角館消防署		548,000			548,000
	角館消防署訓練棟		30,000			30,000
2051	東分署		240,000			240,000
	東分署訓練棟		30,000			30,000
2054	南分署		280,000			280,000
	南分署訓練棟		18,000			18,000
2056	協和分署	55,000				55,000
2057	田沢湖分署	63,000				63,000
計		788,175	2,348,000	1,198,204	1,406,769	5,741,148

3 公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針

3.1 計画期間

計画期間は平成30年度から2027年度までの10年間とします。必要に応じて計画の見直しを行います。

3.2 取組体制の構築及び情報管理・共有方策

施設の整備・維持管理を適切に行うため、構成市町との連絡を密にし、必要に応じて組合構成市町の担当課長会議等を開催し協議を行います。また、重要な事項については、組合正副管理者会議に諮り、組合議会に説明します。

3.3 現状や課題に対する基本認識

- 少子高齢化、人口減少

当組合圏域内では、大幅な人口減少が見込まれ、少子高齢化も進みます。このような状況変化に応じた施設規模の見直しを行い、圏民ニーズに適切に対応する必要があります。

- 施設の老朽化

保健衛生施設においては、中央斎場が平成27（2015）年度に移転新築されましたが、昭和50年台後半に建設された施設の老朽化が進んでいます。

消防施設においては、統合分署（東、南、西）以外の分署において、有形固定資産減価償却率が70%を超えており、必要性を精査したうえで、今後のあり方を検討していく必要があります。

- 一部事務組合としての施設管理

一部事務組合の設立目的は、行政サービスの共同処理であることをから、当組合の施設管理は、組合構成市町の行政方針と大きな関連性があり、相互の情報共有が非常に重要であります。

3.4 公共施設等の管理に関する基本的な考え方

- **点検・診断等の実施方針**

日常的点検や法定点検を確実に実施することで、状況の把握に努め、適切な時期に効率的かつ効果的な対策が実施できるようにします。

- **維持管理・修繕・更新等の実施方針**

施設の安定的な稼働を図るため、点検・診断結果等を基に計画的に進めます。イニシャルコストのみではなく、維持管理費を含めたトータルコストの視点に立ちながら方針を決定します。

- **長寿命化の実施方針**

施設の建替には多額の費用を要することから、可能な限り、既存施設の長寿命化を進めます。修繕を行う際には原状回復のみならず、長寿命化に資する方策を検討します。

- **統合や廃止の推進方針**

利用状況の将来予測を考慮し進めます。経費的な面のみならず、利便性も考慮したうえで総合的に判断します。

- **総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の構築方針**

組合構成市町に対し、大規模事業にかかる財政シミュレーションを示し、組合構成市町と十分に協議しながら進めます。

地方公会計の固定資産台帳情報を活用し、客観的で一貫した情報に基づいた施設状況の把握に努めます。

3.5 フォローアップの実施方針



本計画については、PDCA サイクルによる進捗管理を行います。

計画 本計画の策定（事務局、消防本部）

実行 計画に基づく施設管理の実施（所属課）

評価 計画の状況把握、課題の抽出（事務局、所属課）

改善 評価を踏まえた改善策の検討、次期方針の決定（事務局、消防本部）

施設整備にあたっては、圏民、議会、組合構成市町との合意形成に努めるとともに、ホームページ等を通じて情報提供に努めます。

4 施設類型毎の管理に関する基本的な方針

4.1 保健衛生施設

へい獣保冷センター、中央斎場、南部斎場、北部斎場

昭和 50 年台後半に建設された南部・北部斎場の老朽化が進んでいるほか、へい獣保冷センターについては、耐用年数を過ぎています。利用状況の将来予測を踏まえ、行政サービス提供体制を維持できるよう必要な整備・維持管理を行いながら、施設の存廃・建替・改修等の早急な判断が必要となります。

4.2 消防施設

消防本部、大曲消防署、角館消防署、各分署

圏民の暮らしを守るための拠点施設として、消防力維持のため適切な維持管理に努めます。統合分署以外の分署が、有形固定資産減価償却率において 70 %を超えており、必要性の精査を行ったうえで、今後のあり方を検討していく必要があります。

4.3 その他

事務局車庫

事務局は現在、大仙市が管理する交流センターの一室を借りていますが、消防本部の改築に合わせ、同一庁舎内に移転します。移転後のあり方については、今後検討します。

5 付録

● 施設整備に係る経費試算の前提条件

区分1	区分2	区分3	経過年数	費用 (千円/㎡)	改修・建替面積
保健衛生施設	-	大規模改修	25 年	350	既存施設(建替施設は建替後)面積と同じ
保健衛生施設	-	建替	45 年	700	既存施設(建替施設は建替後)面積と同じ
消防施設	庁舎 (RC 造)	建替	60 年	400	消防庁舎基準面積算定表による
消防施設	庁舎 (S 造)	建替	50 年	400	消防庁舎基準面積算定表による
消防施設	庁舎 (木造)	建替	40 年	400	消防庁舎基準面積算定表による
消防施設	訓練棟	建替	庁舎本体 と同じ	150	消防庁舎基準面積算定表による
消防施設	庁舎 (RC 造)	大規模改修	30 年	80	既存施設(建替施設は建替後)面積と同じ
消防施設	庁舎 (S 造)	大規模改修	25 年	100	既存施設(建替施設は建替後)面積と同じ
消防施設	庁舎 (木造)	大規模改修	20 年	132	既存施設(建替施設は建替後)面積と同じ

ただし、南部斎場と北部斎場の改修建替面積については、上記表によらず以下のとおりとします。

施設名	建替年度	炉1基当たりの面積 (㎡/基)※	火葬炉数 (基)	改修・建替面積 (㎡)
南部斎場	2023 年度	490	2	980
北部斎場	2025 年度	490	2	980

※ 中央斎場(2015 年度建替) [建替面積 1463.44 ㎡] ÷ [火葬炉数 3 基] ≒ 490

また、事業費の平準化のため、事業年度を以下のとおりスライドさせています。

- ・ 北部斎場改修 2050 年度→2049 年度
- ・ 角館消防署・訓練棟建替 2051 年度→2050 年度
- ・ 中仙分署・訓練棟建替 2033 年度→2035 年度
- ・ 西木分署・訓練棟建替 2035 年度→2037 年度
- ・ 西仙北分署・訓練棟建替 2038 年度→2039 年度